

(素案)

改訂版

茅ヶ崎市 道路整備プログラム



令和5年●月
茅ヶ崎市

道路整備プログラムの目的

本市の道路は、いまだ交通渋滞や歩行者・自転車の安全性などの面で多くの課題があります。また近年は、少子高齢化の急速な進展や安全・安心志向の高まり、道路財源の減少など、道路整備を取り巻く環境が変化しており、時代のニーズに沿った道路整備が求められています。

そのため、道路整備環境の変化に的確に対応し、限られた財源の中で効率的かつ効果的な道路整備を計画的に進めていくために、平成23年3月に策定した道路整備プログラムは、将来における本市のあり方を見据えながら、本市が新設・拡幅等の整備を実施する主要な道路について、道路整備の計画を示すことを目的としています。

道路整備プログラムの評価対象路線

本道路整備プログラムでは、本市による整備を予定している「都市計画道路」および計画構想がある「幹線市道」の「未改良区間」を対象として、道路整備の計画を策定しました。

都市計画道路
本市の都市計画道路は、計画延長約63km(27路線)であり、改良率は約58.2%です(令和5年3月時点)。道路整備プログラムでは、本市整備予定の都市計画道路(10路線)の未改良区間を評価対象としています。

幹線市道
平成23年3月策定時、9路線が位置づけられており、改良率は約26.7%です(令和5年3月時点)。道路整備プログラムでは、概ね改良済みの「芹沢小林線」を除く8路線の未改良区間を評価対象とします。

道路整備プログラムの5つの方向性

本道路整備プログラムを策定するにあたって、本市の交通特性や道路交通状況等から整理した「道路交通課題」、ちがさきのまちづくりを考えるアンケートから整理した「市民ニーズ」、上位・関連計画から整理した「道路整備ニーズ」等を踏まえた「道路整備プログラムの5つの方向性」を設定しました。

道路整備プログラムの5つの方向性

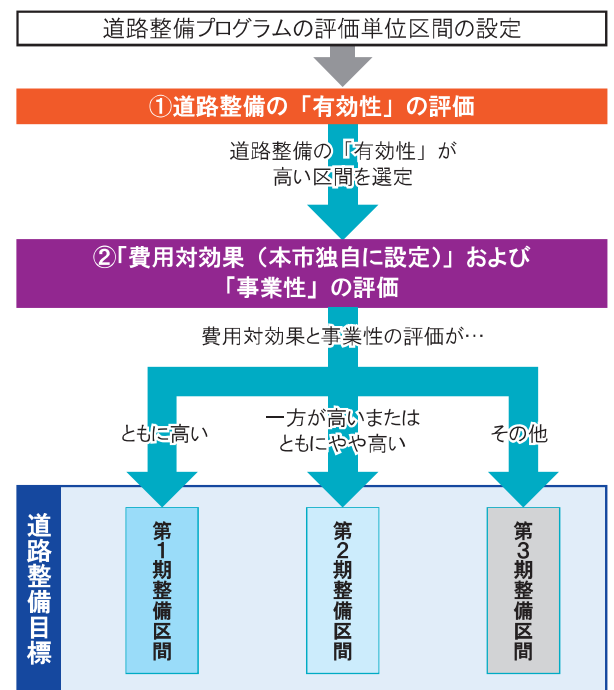
- 「人」を重視した道づくり
- 暮らしの安全・安心を支える道づくり
- 円滑で快適な移動を実現する道づくり
- 地域活力を高める道づくり
- 環境にやさしい道づくり

限られた財源の中で、『道路整備プログラムの5つの方向性』を実現するため、整備効果や効率性が高い道路整備を優先的に行います。

道路整備計画の検討方法

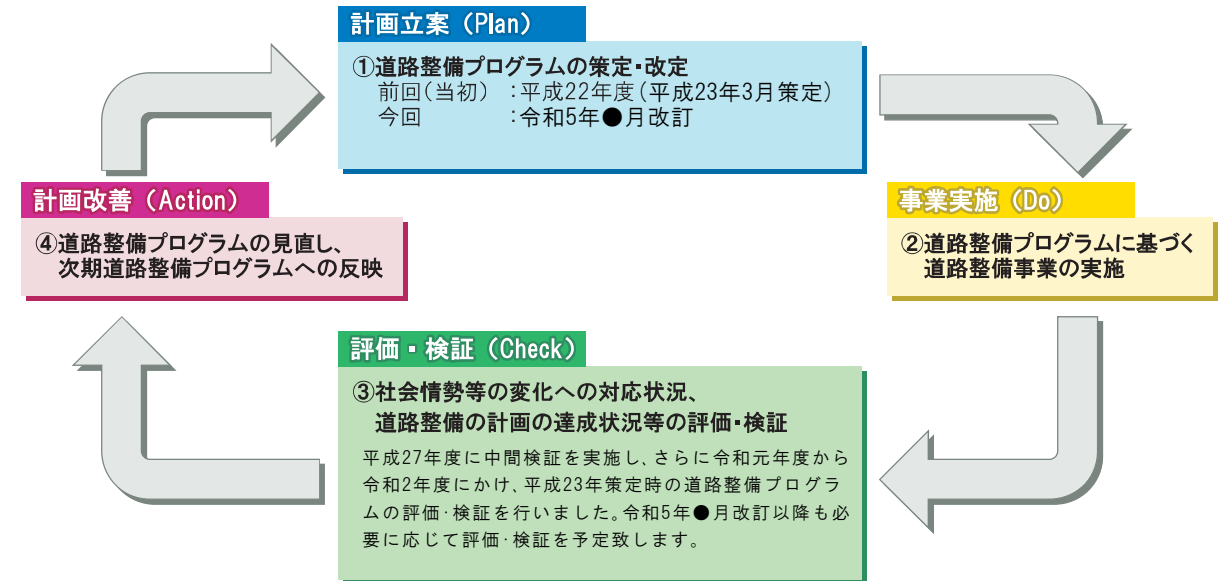
本道路整備プログラムでは、以下に示すフローに従い、各評価単位区間を客観的に評価し、道路整備目標を設定しました。

- 第1期整備区間: 今後10年以内に整備完了もしくは着手・継続する区間
- 第2期整備区間: 第1期整備区間を整備した後に事業着手を検討する区間
- 第3期整備区間: 現状では着手未定の区間



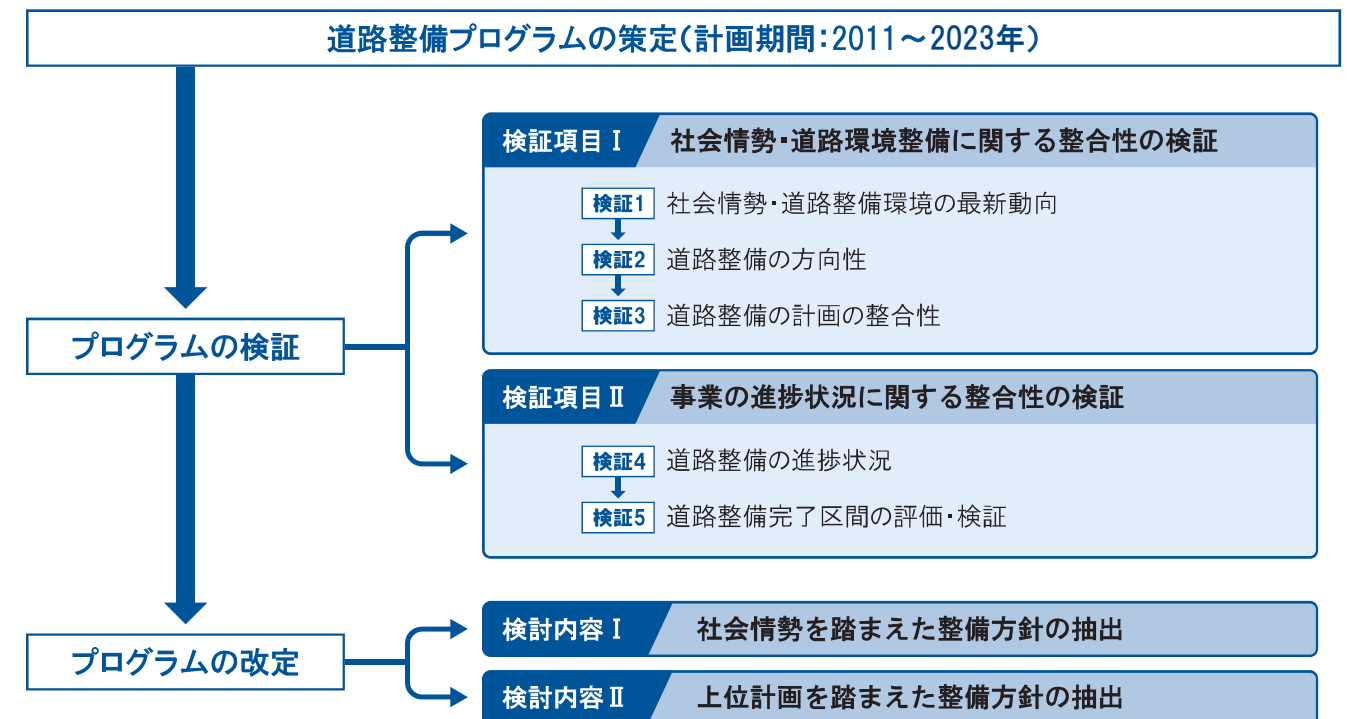
道路整備プログラムの検証と改定

本道路整備プログラムは、計画立案(Plan)、事業実施(Do)、評価・検証(Check)、計画改善(Action)のPDCAサイクルにより、社会情勢や道路整備環境の変化への評価の視点等の対応状況、道路整備計画の達成状況等を検証し、必要に応じた見直しや改定を行っていきます。



策定から10年経過時点の検証と改定

本道路整備プログラムは、平成23年3月の策定から10年が経過した令和2年度に評価・検証を行いました。最近の社会情勢や道路整備環境、事業の進捗状況を踏まえて本プログラムの内容について策定時との整合性を検証した上で、市や県の上位計画等が示す今後の本市のあり方を踏まえてプログラムの改訂の必要性について、検討しました。



策定から10年経過時点の評価・検証の結果

平成23年3月に策定された道路整備プログラムについて評価・検証した結果、『社会情勢・道路整備環境の動向に大きな変化はなく、本市を取り巻く環境との整合が図られていること』『事業の進捗状況は、策定時の目標に概ね整合が図られていること』を確認しました。

以下の検討項目の結果より、道路整備の計画および事業の進捗状況は、策定時と概ね整合が図られていることを確認しました。今後も更新された市や県の上位計画等と整合を図りつつ、この10年間実施してきた本プログラムの計画を継承し、引続き、茅ヶ崎市総合計画の目標年次である令和12年度まで本プログラムに基づく道路整備を継続的に実施していきます。

検証項目Ⅰ 社会情勢・道路環境整備に関する整合性の検証

社会情勢・道路整備環境の動向に大きな変化はなく、本プログラムの道路整備の方向性は本市を取り巻く環境との整合が図られています。

また、道路整備の進捗目標を示した、第1期整備区間、第2期整備区間に該当する路線・区間は、策定時と概ね変更がなく、今後も基本的に策定時の計画を継承し、断続的に実施していくことが妥当であることを確認しました。

策定時に対し重要性が増したと評価された区間(1区間)に関しては、地域の情勢に柔軟に対応するため、先行的に事業に着手しています。

検証項目Ⅱ 事業の進捗状況に関する整合性の検証

事業の進捗状況は、限られた予算の中で測量・設計、用地取得を着実に進めており、策定時の目標に概ね整合が図られていることを確認しました。

整備が完了した区間および一部完了した区間は、2区間となっており、混雑緩和や歩行者等の安全性の確保などの整備効果が発現しています。

道路整備の計画(事業の進捗状況)

分類	道路整備当初目標	当初計画(路線略称)	路線・区間(延長、幅員)	道路整備の進捗状況(主な整備内容)	検証結果(道路整備目標)	検証結果(路線略称)
都市計画道路	第1期整備区間	新国3	新国道線 区間3 (延長 922m、幅員 20m)	整備継続中 (歩道整備、かながわのみちづくり計画による整備主体の調整)	第1期整備区間	新国3
		東寒3	東海岸寒川線 区間3 (延長 340m、幅員 16m)	整備完了 (平成24年4月供用開始)		東寒3
		東寒4	東海岸寒川線 区間4 (延長 290m、幅員 12m)	整備継続中 (詳細設計及び用地測量の実施)		東寒4
	第2期整備区間	東寒2	東海岸寒川線 区間2 (延長 770m、幅員 16m)	一部先行して整備着手 (用地買収及び暫定整備の実施)	第2期整備区間	東寒2
		新国4	新国道線 区間4 (延長 680m、幅員 20m)	第1期整備後着手検討		新国4
		中寒3	中海岸寒川線 区間3 (延長 330m、幅員 20m)	第1期整備後着手検討		中寒3
幹線市道	第1期整備区間	香甘1	香川甘沼線 区間1 (延長 920m、幅員 12m)	整備継続中:一部整備完了 (用地買収、一部区間歩道及び交差点改良の実施)	第1期整備区間	香甘1
		上赤1	上赤羽根堤線 区間1 (延長 180m、幅員 12m)	整備継続中 (用地買収及び暫定整備の実施)		上赤1
		高萩1	高田萩園線 区間1 (延長 410m、幅員 12m)	整備継続中 (詳細設計、用地測量、用地買収及び暫定整備の実施)		高萩1
		下芹3	下寺尾芥沢線 (B路線) 区間3 (延長 300m、幅員 12m)	整備継続中 (用地買収及び一部区間整備の実施)		下芹3
		行芹1	行谷芥沢線 (C路線) 区間1 (延長 531m、幅員 12m)	整備継続中 (用地買収及び暫定整備の実施)		行芹1
	整備区間	梅田1	市道 0210号線 (梅田通り) 区間1 (延長 250m、幅員 12m)	第1期整備後着手検討	第2期整備区間	梅田1
		下芹4	下寺尾芥沢線 (B路線) 区間4 (延長 420m、幅員 12m)	第1期整備後着手検討		下芹4

凡例
■ 第1期整備区間(整備完了予定)
■ 第1期整備区間(整備継続予定)
■ 第1期整備区間(整備着手予定)
■ 第1期整備区間(整備完了)
■ 第2期整備区間(第1期整備区間整備後に着手検討)

プログラムの改定に向けた整備方針の抽出

プログラムの検証の結果、本プログラムにおける「5つの方向性」は、現在の本市を取り巻く環境にも対応しているため、道路整備の取組みを継続的に推進していくこととします。なお、社会情勢や市や県の上位計画により、対象事業等を一部改訂します。

検討内容Ⅰ 社会情勢を踏まえた整備方針の抽出

平成23年3月本プログラム策定以降の道路整備環境・道路交通課題、市民ニーズ、上位・関連計画に基づく本市を取り巻く主な最新動向は次のとおりです。

道路整備環境・道路交通課題	茅ヶ崎市に関連する道路整備環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> さがみ縦貫道路 (平成 27 年 3 月) 国道 134 号の 4 車線化 (平成 27 年 3 月)
	茅ヶ崎市の道路整備現況から見た課題	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路の整備率は約58% (令和5年3月) で、周辺市と比較して低い水準 道路事業に配分される国土交通省の補助金や交付金等については、減少傾向
	茅ヶ崎市の道路交通現況から見た課題	<ul style="list-style-type: none"> 市内の幹線道路では混雑発生 1年で5件以上の人身事故が発生している交差点が存在 茅ヶ崎駅・辻堂駅周辺で歩行者・自転車の交通が多い
市民ニーズ	茅ヶ崎のまちづくりを考えるアンケート (平成 25 年 7 月～8 月)	<ul style="list-style-type: none"> 道路に関して「防災機能」や「歩行者の交通機能」を重視する傾向
	茅ヶ崎市のまちづくり市民満足度調査 (平成 27 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 今後のまちづくりの重要度:「生活道路の安全性・快適性」の重要度が高く、かつ満足度が低い
	茅ヶ崎市のまちづくり市民満足度調査 (平成 29 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 目指すべき将来像:「災害に強いひと・まちが育つ、安全・安心な都市」という意見が多い 子どもや高齢者にとっての安心・安全な環境整備や、地域防災対策の観点の重要度が高い
上位・関連計画に基づく動向	わたしの提案、要望書	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者の安全、通学路の改善、歩道の整備に対する意見や要望
	茅ヶ崎市低炭素まちづくり計画 (平成 27 年 3 月)	<ul style="list-style-type: none"> 歩きやすい空間を有する拠点地域の形成
	茅ヶ崎市バリアフリー基本構想 (平成 27 年 9 月)	<ul style="list-style-type: none"> 茅ヶ崎駅・北茅ヶ崎駅を中心として重点整備地区を指定
	茅ヶ崎市総合計画 (令和3年3月)	<ul style="list-style-type: none"> 利便性の高い移動環境の形成 財政の健全性の確保 幹線道路網を格子型に結び骨格道路の形成
	ちがさき都市マスタープラン (令和元年6月)	<ul style="list-style-type: none"> 幹線道路網の整備と歩行者に配慮した交通体系の形成

検討内容Ⅱ 上位計画を踏まえた整備方針の抽出

市や県の上位計画を受け、抽出した今後の道路整備で留意すべき主な方針は次のとおりです。

上位計画	内容	方針
かながわグランドデザイン 第3期実施計画 主要施策・計画推進編 (令和元年7月)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や豪雨などの自然災害に備えた安全・安心の確保 河川などの防災対策・治水対策の推進(小出川) 	①県の上位計画との整合
茅ヶ崎市総合計画 (令和3年3月)	<ul style="list-style-type: none"> 湘南の豊かな自然の保全と再生の推進 里地里山の保全(茅ヶ崎里山公園) 	①県の上位計画との整合
	<ul style="list-style-type: none"> 幹線道路網による骨格道路の形成 	②幹線道路網・環状道路の整備
	<ul style="list-style-type: none"> 環状道路の整備や、バリアフリー化を進め、環境に配慮し、歩行者や自転車を中心とした交通体系への転換 	③歩行者空間・自転車利用環境の整備
ちがさき都市マスタープラン (令和元年6月)	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが快適に移動できるよう、狭い道路の整備等の地域の実情や特性に応じた利便性の高い移動環境の形成 	④財政・地域の実情に即した整備区間の選定・区割り
	<ul style="list-style-type: none"> 取組の優先順位や成果を見定め、選択と集中の観点から適正な資源配分 	④財政・地域の実情に即した整備区間の選定・区割り
ちがさき都市マスタープラン (令和元年6月)	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県が、県土全体の広域的な都市づくりの長期ビジョンとして定めた都市マスタープランなどの計画や方針の内容と整合を図る 	①県の上位計画との整合
	<ul style="list-style-type: none"> これまで形成されてきた市街地構成や幹線道路網を考慮し骨格道路の形成 	②幹線道路網・環状道路の整備
	<ul style="list-style-type: none"> 環状道路の整備やバリアフリー化を進め、茅ヶ崎駅周辺への通過交通の削減、歩行者や自転車を中心とした交通体系への転換 	②幹線道路網・環状道路の整備 ③歩行者空間・自転車利用環境の整備

改訂後の対象事業と整備目標

策定から10年経過した評価・検証の結果、ならびに社会情勢や市や県の上位計画が示す今後の茅ヶ崎市のあり方を踏まえて、一部路線の道路整備目標を改めつつ、現道路整備プログラムを継続し、茅ヶ崎市総合計画の目標年次である令和12年度までを整備目標とし、今後の道路整備の計画として、効率的・効果的な道路整備を引き続き実施していきます。また、本道路整備プログラムの対象事業の他に、歩行者・自転車等の安全を確保するための歩道整備事業を継続的に実施していきます。

今回の主な改訂箇所	東寒2	東海岸寒川線:区間2	→ 東海岸寒川線区間3(高田地区)の供用開始に伴う交通環境の変化や評価結果より、交差点改良等の部分的な整備の検討を行います。
	下芹1	下寺尾芹沢線:区間1	→ 県上位計画における遊水地計画(県事業)と連携する必要があるため、整備区間としての位置づけを行い、整備方針などについて必要な検討を行います。
	梅田1	梅田通り:区間1	→ 市民ニーズを踏まえ、沿道周辺状況等により、暫定整備などの効果的な整備手法の検討を行います。

道路整備プログラム対象事業

分類	道路整備目標	路線名(路線略称)	路線・区間(延長、幅員)	事業概要と整備内容	道路整備計画
都市計画道路	第1期整備区間	新国3	新国道線 区間3 (延長922m、幅員20m)	茅ヶ崎中央通り(県道45号)から東海岸寒川線(国道1号)と平行する区間で、茅ヶ崎駅を中心とする環状道路の役割や、災害時の市立病院への経路確保の面で整備効果がある区間です。平成22年度より歩道の整備工事に着手しており、今後も用地買収・道路整備を継続し、かながわのみちづくり計画に基づき県と連携して検討・調整を進めます。	整備継続予定
		東寒4	東海岸寒川線 区間4 (延長290m、幅員12m)	東海岸寒川線のみずき地区から小出中央通り(県道47号)までの未整備区間で、交通の円滑化の面で整備効果がある区間です。市の財政状況を踏まえつつ、用地買収や沿道周辺状況に対応した暫定整備を検討します。	整備継続予定
		東寒2	東海岸寒川線 区間2 (延長770m、幅員12m)	鉄砲道から萩道を結ぶ区間で、交通の円滑化に面で整備効果がある区間です。市の財政状況を踏まえつつ、幸町交差点の改良に必要な55m区間を優先した用地買収を進めます。	整備継続予定
	整備区間	第2期	新国4	新国道線 区間4 (延長680m、幅員20m)	「第1期整備区間」の整備が完了した後に事業着手を検討している区間です。周辺の土地利用の動向や「千ノ川整備実施計画」に基づく河川改修事業の実施時期と調整を図ります。
幹線市道	第1期整備区間	中寒3	中海岸寒川線 区間3 (延長330m、幅員20m)	「第1期整備区間」の整備が完了した後に事業着手を検討している区間です。	第1期整備後着手検討
		香甘1	香川甘沼線 区間1 (延長920m、幅員12m)	東海岸寒川線から香川駅を結ぶ区間で、香川小学校に近く、歩行者・自転車の安全性を向上する目的で整備を行う区間です。市の財政状況を踏まえつつ、用地買収・道路整備を進めます。また、「香川駅周辺地区まちづくり整備計画」の進捗に合わせて、未計画区間の事業実施を検討します。	整備継続予定
		上赤1	上赤羽根堤線 区間1 (延長180m、幅員12m)	藤沢大磯線(県道44号)から赤羽根中学校南側の信号までの区間で、歩行者・自転車の安全性を向上する目的で整備を行う区間です。市の財政状況を踏まえつつ、用地買収を継続し、沿道周辺状況に対応した整備を進めます。	整備完了予定
		高萩1	高田萩園線 区間1 (延長410m、幅員12m)	産業道路(県道46号)から萩園通りを結ぶ区間で、歩行者・自転車の安全性を向上する目的で整備を行う区間です。市の財政状況を踏まえつつ、用地買収を継続し、沿道周辺状況に対応した整備を進めます。	整備継続予定
		下芹3	下寺尾芹沢線(B路線) 区間3 (延長300m、幅員12m)	県立茅ヶ崎里山公園の北側に接する区間で、里山公園や茅ヶ崎斎場へのアクセス道路として整備を行う区間です。市の財政状況を踏まえつつ、用地買収・道路整備を進めます。	整備継続予定
		下芹1	下寺尾芹沢線(B路線) 区間1 (延長930m、幅員12m)	県の小出川遊水地事業と連携し、整備方針や県道47号との接続方法などについて検討します。	整備着手予定
		行芹1	行谷芹沢線(C路線) 区間1 (延長531m、幅員12m)	県立茅ヶ崎里山公園の西側に接する区間で、里山公園の外周道路、茅ヶ崎斎場へのアクセス道路として整備を行う区間です。市の財政状況を踏まえつつ、用地買収・道路整備を進めます。	整備継続予定
	梅田1	市道0210号線(梅田通り) 区間1 (延長250m、幅員12m)	自転車の代替ルートとなりうる「中海岸寒川線区間3」「新国道線区間4」の整備が予定されている中で、安全性の確保が優先される整備手法や事業の早期着手に向けた調査を検討します。	整備着手予定	
	第2期整備区間	下芹4	下寺尾芹沢線(B路線) 区間4 (延長420m、幅員12m)	「第1期整備区間」の整備が完了した後に事業着手を検討している区間です。	第1期整備後着手検討

歩道整備事業

歩道	路線名	延長・幅員	整備内容
歩-鶴嶺	市道0109号線(鶴嶺通り)	(延長1,960m、幅員2.5m)	市の財政状況を踏まえつつ、歩道幅員が確保されていない区間の歩行者等の安全確保のため、歩道整備を進めます。
歩-大岡	市道0110号線(大岡越前通り)	(延長1,430m、幅員2.0m)	市の財政状況を踏まえつつ、歩道幅員が確保されていない区間の歩行者等の安全確保のため、歩道整備を進めます。
歩-天神	市道7560号線(天神坂通り)	(延長670m、幅員2.0m)	市の財政状況を踏まえつつ、歩道幅員が確保されていない区間の歩行者等の安全確保のため、歩道整備を検討します。
歩-一北	市道0217号線(一里塚北通り)	(延長1,190m、幅員2.0m)	市の財政状況を踏まえつつ、歩道幅員が確保されていない区間の歩行者等の安全確保のため、歩道整備を検討します。

凡例 | ■第1期整備区間(整備完了予定) ■第1期整備区間(整備継続予定) ■第1期整備区間(整備着手予定) ■第2期整備区間(第1期整備区間整備後に着手検討) ■歩道

見直し後の対象事業位置図



未改訂線(対象路線)	都市計画道路(市管理・整備予定)	将来計画構想がある幹線市道		歩道
		整備完了・継続 もしくは着手予定	整備着手予定 (整備完了)	
第1期整備区間	整備完了・継続 もしくは着手予定	(整備完了予定)	(整備着手予定)	
第2期整備区間	第1期整備区間を 整備した後に事業着手を検討	(整備継続予定)	(整備完了)	
第3期整備区間	現状では着手未定			
改良済				

事業の進捗状況

》都市計画道路(街路事業)の整備事例

東海岸寒川線 区間3(東寒3)

整備期間 平成13年～平成24年4月 **整備延長** 340m **整備効果** 幹線道路の混雑緩和

幹線道路が接続し、周辺道路の混雑緩和や公共施設へのアクセス性が向上しています。また、市立病院へのアクセス経路となるため、災害時の移動時間短縮が図られます。

[整備前]



[整備後①]



[整備後②]



》幹線市道(市道改良事業)の整備事例

香川甘沼線区間1(香甘1)の一部区間

整備期間 平成8年～令和元年9月 **整備延長** 263m **整備効果** 歩行者等の安全性の確保

狭い道路を拡幅し、歩道と車道を分離したことにより歩行者等の円滑な通行や安全性を確保しています。また、交差点の改良、植樹帯やバス停留所を整備しており、歩行空間や沿道環境が向上しています。

[整備前]



[整備後①]



[整備後②]



》歩道整備事業の整備事例

市道0110号線(大岡越前通り) 歩道整備事業

既存道路の歩道拡幅や歩道整備により歩行者・自転車等の安全を確保し、円滑な通行や安全性が向上しています。

[整備前]



[整備後①]



[整備後②]



茅ヶ崎市 建設部 道路建設課

〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号

TEL: 0467-82-1111 FAX: 0467-89-2916

<https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/>